



神さまの守りの中で
のびのび育つ子どもたち



宗教法人日本キリスト教団片瀬教会付属
片瀬のぞみ幼稚園
Katase Nozomi Kindergarten

片瀬のぞみだより

2018年2月号

家庭通信 2018 No.

2018年 **2月主題聖句**

「愛は、すべてを完成させるきずなです。」

コロサイの信徒への手紙 3章 14節

牧師（設置者）磯部理一郎

片瀬のぞみ幼稚園の園児の皆さん、保護者の皆さん、おはようございます。そしてこんにちは。毎日が矢のように速く、そして時には慌ただしく、過ぎ去ってゆきます。新年を迎えて、早くも2月を迎えます。来月3月には、みんなを遅しく守りそして優しく導いてきた「はと組」さんたちが卒園し、4月には、新しい「ひよこ組」さんたちをお迎えします。時の流れに負けず、それ以上に、園児の皆さん一人ひとりが、遅しく成長している今日この頃を覚え、感激を禁じ得ません。

毎日、こどもたちは皆、全身全霊を尽くして明るく元気に、それこそ全力200%で、小さいながらも、園庭いっぱい遊んでいます。のぞみ幼稚園のこどもたちを見ていますと、昼食時間以外は、殆ど園庭で、伸び伸びととことん、遊び尽くしているようです。江ノ電「湘南海岸公園」駅に掲げられている「片瀬のぞみ幼稚園」の看板広告には、明るく元気に伸び伸びと「遊べる幼稚園」と書かれています。意外なことに、「学べる」幼稚園とは書かれていないのです。文字通り、「遊べる幼稚園」なのです。季節に応じた年間のカリキュラムも、原理は「遊べる幼稚園」で貫かれているようにも見えます。

脳の発達という視点から見ますと、「遊び」ほどの成長の基（もと）はほかにはない、と思います。園庭での遊びでは、先ず手足の四肢はもとより、頭も口も目も

耳も、全身をフルに使って動き回ります。そこに、一人ではなく「集団」の遊びが展開しますと、しかも異年齢の園児が入り乱れ、一緒に遊び始めますと、遊びを継続したり、遊びをさらにダイナミックに、より楽しい遊びに、皆で構築し合い展開します。そうした集団遊びという大きな行動の展開には、とても複雑で迅速なコミュニケーション能力が強く求められます。時には優しく小さな声で、時には激しく大きな声で、急穏大小に変化させながら迅速かつ正確なコミュニケーションが展開するなかでこどもたちの遊びより大きくダイナミックな遊びとなり、こどもたちは共に一体に連動しながら、それぞれの役割を的確に果たしながら、集団の遊びは弾けるように発展してゆきます。小さな静かな部屋で一人で絵本を見ることも大切ですが、脳神経細胞が活発に全身の神経系と連動しながら、比較にならないほど爆発的に活性化して、ネットワークを張り巡らしてゆきます。それが成長の源となつて、ひとりの人格とからだは造り上げられてゆきます。

いよいよ小学校でも早期英語教育が本格的にカリキュラム化され、母語に加えて第二言語習得が急がれるようになりました。全ての学校生活と全教科において英語使用が50%以上を占めるイマージョン教育も注目を集めており、多くの私立学校で小学校からの導入が計られているようです。教育環境が激しく変化する中で、不安や焦りを覚える保護者の皆さんも少なくないようです。しかしひとりの人格も脳も、統合された一つの体系的ネットワークにより構築されており、成長や発達のための諸情報は、血流などによる栄養素・伝達物質の伝達共有も含めて、そのネットワークの中で処理されます。「言語」処理も同じように、さまざまな「運動」処理はもとより、「情動」処理や「空間」処理などと連動連合しながら、意味あるネットワーク化が図られて、理解や習得は進められます。聞く・話す・理解するは、見る・行動する・共感することと一体となって、ことばは処理され理解され、そして習得されます。殆ど全てのこどもたちが、教育機関での学習を遥かに超えて、見事に母語を獲得してゆきます。まさにこどもにとって、母語獲得の基盤は日常の「集団遊び」にあり、大人では「社会の営み」に支えられています。第二言語を、文科省が進めているように、「使える実践的な言語」として身につけるには、「教室」では当然限界が生じるのです。

成長発達は、＜体系となる積み重ね＞と＜総合＞による複合的なものです。大きなコミュニケーション構造を身につける中で、一つ一つのことばが意味を持ち、力を発揮します。そして大きなコミュニケーション構造を体系化してくれる大きな基盤こそ、集団で展開するダイナミックな遊びなのです。力強く生き生きと、力を発揮することばが、集団の仲間たちとの間で練り上げられ、共に深く共感し合えるような、ことばの意味と力が、豊かにされるのです。今月の保育主題は「愛は、すべてを完成させるきずなです」(コロサイの信徒への手紙3章14節)。こどもたちが、お互いの人格に心を向け合い、互いの人格を愛し合い、信頼し合い、深く互いを見つめ合ってこそ、時に適う心遣いやことばがやりとりされます。共に遊び合う中から、互いに愛することを知り、人としての成長が導かれます。

